

第5次計画策定専門調査会 地域WG第1回

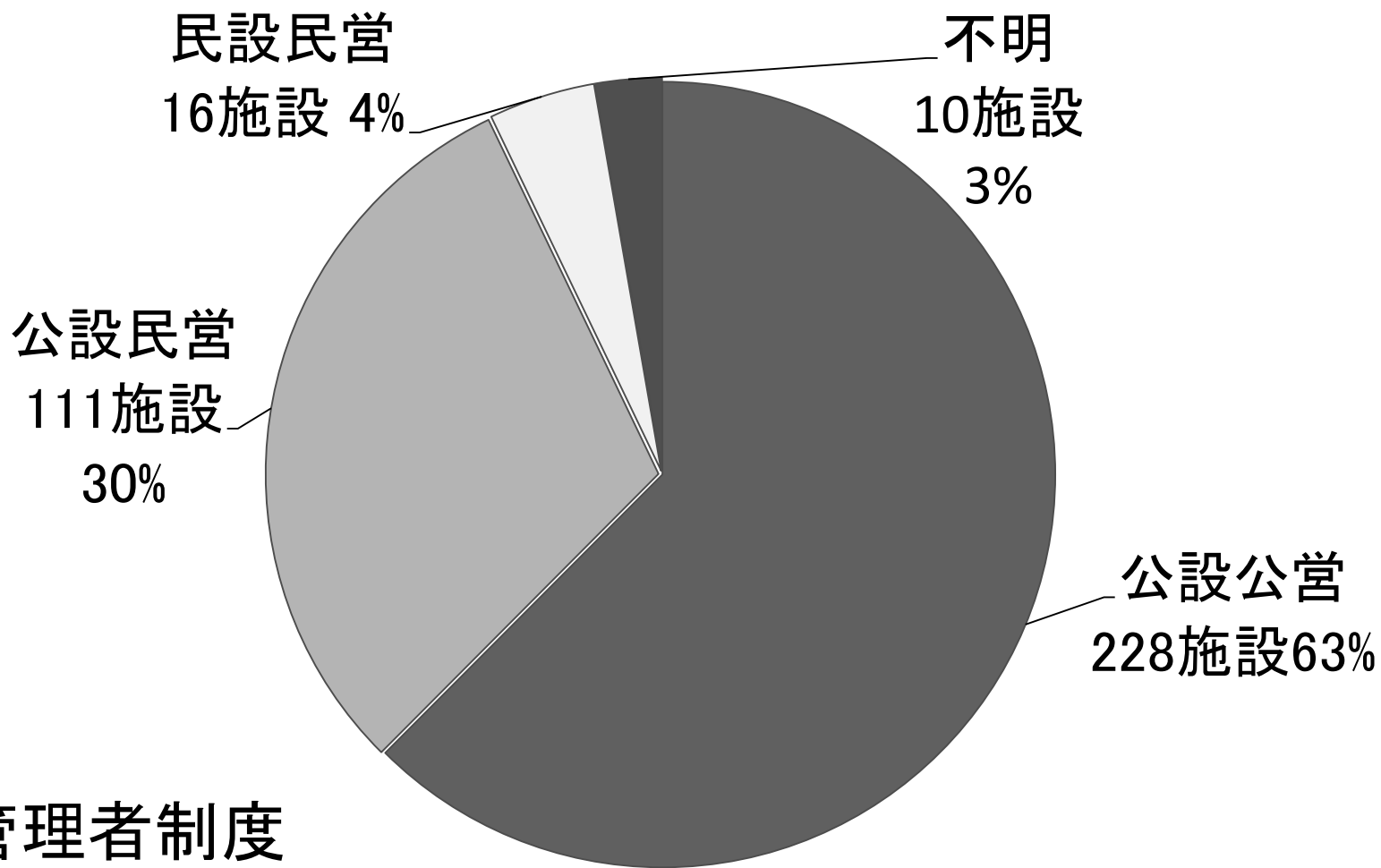
男女共同参画センターの 現状と課題

令和2年1月27日(月)

特定非営利活動法人男女共同参画おおた
(特定非営利活動法人全国女性会館協議会)

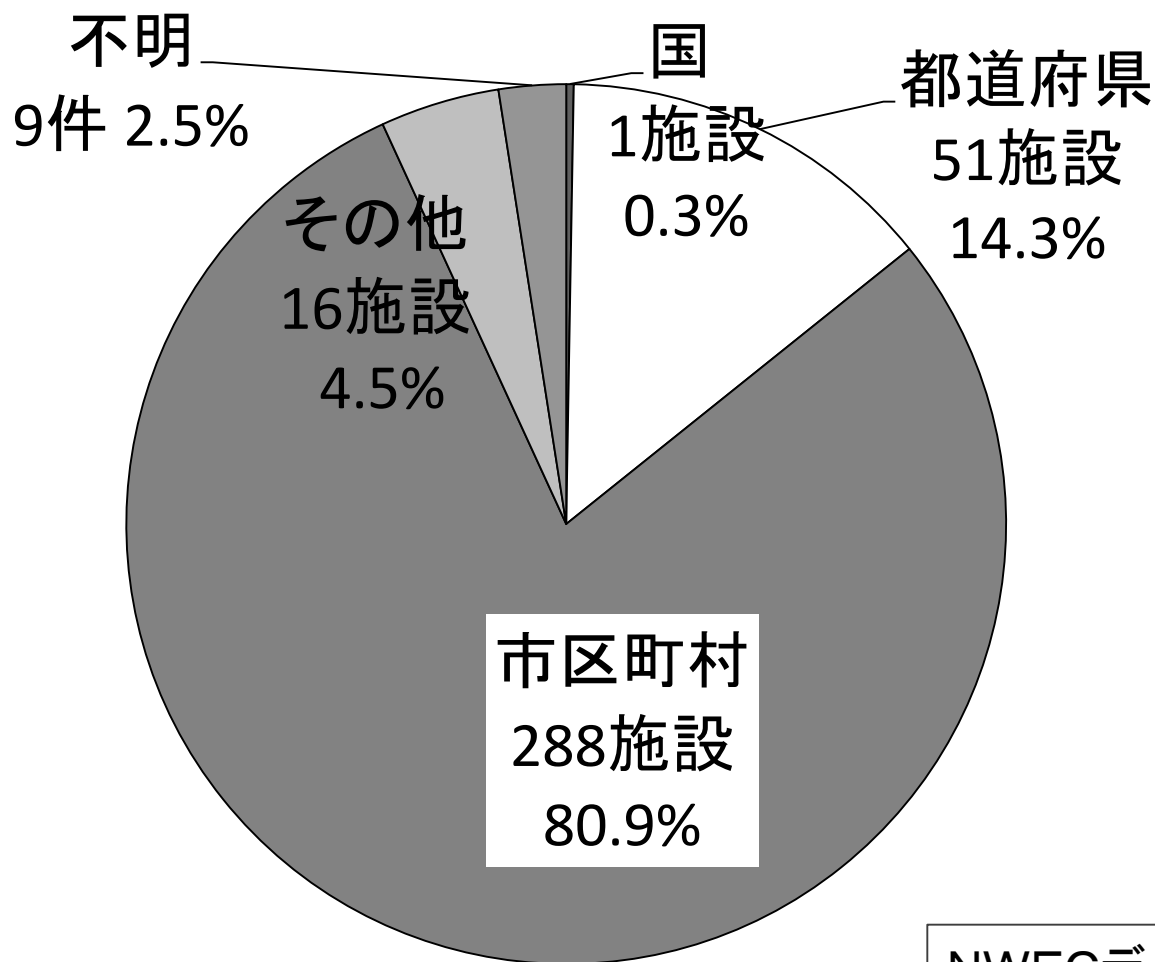
坂田静香

全国の女性／男女共同参画センター 運営形態別(365施設)



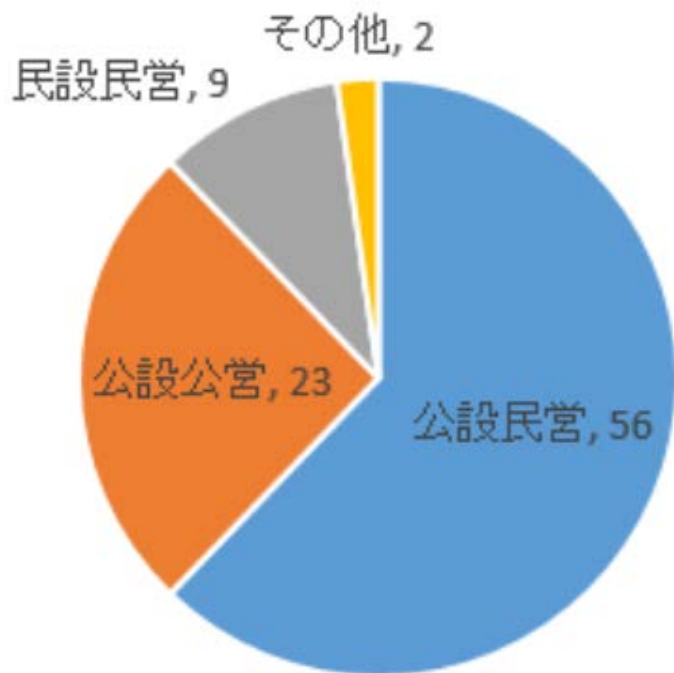
指定管理者制度
導入は110施設

全国の女性／男女共同参画センター 設置主体別(365施設)

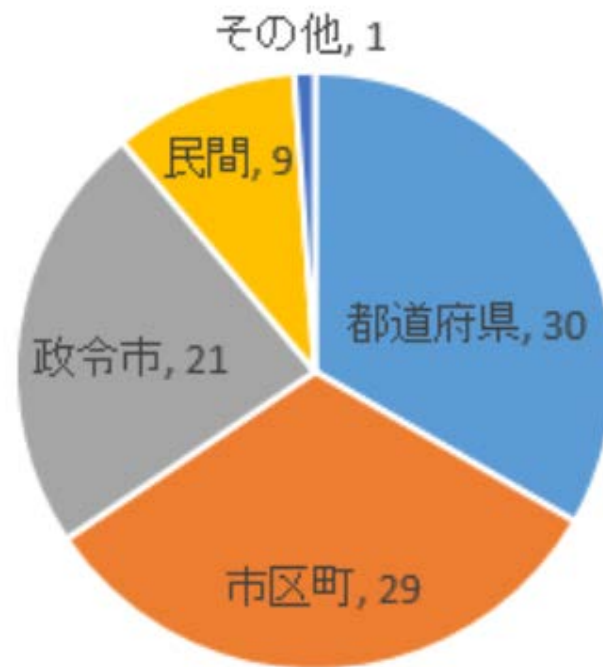


全国女性会館協議会 会員館(90館)

管理運営形態

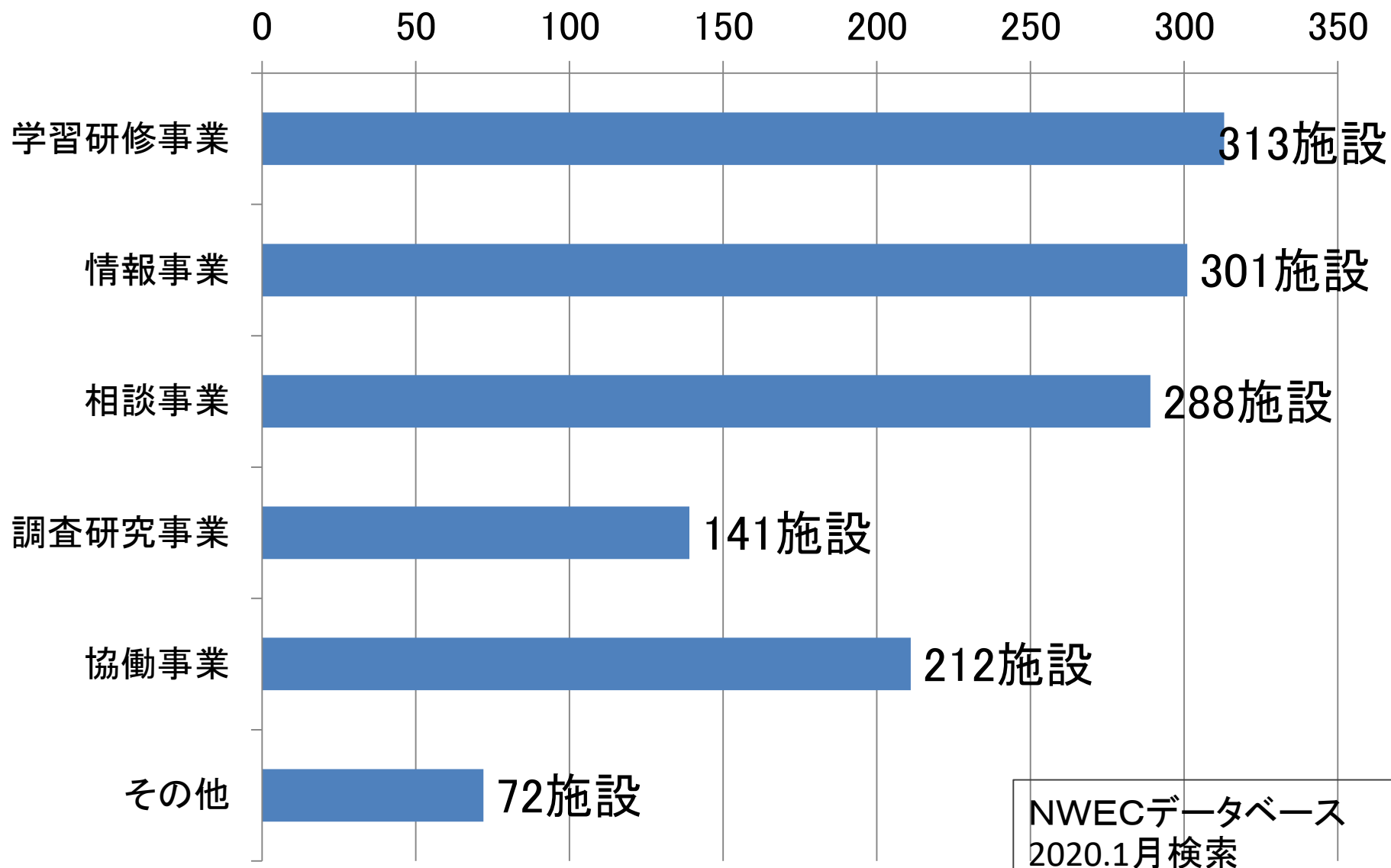


設置者



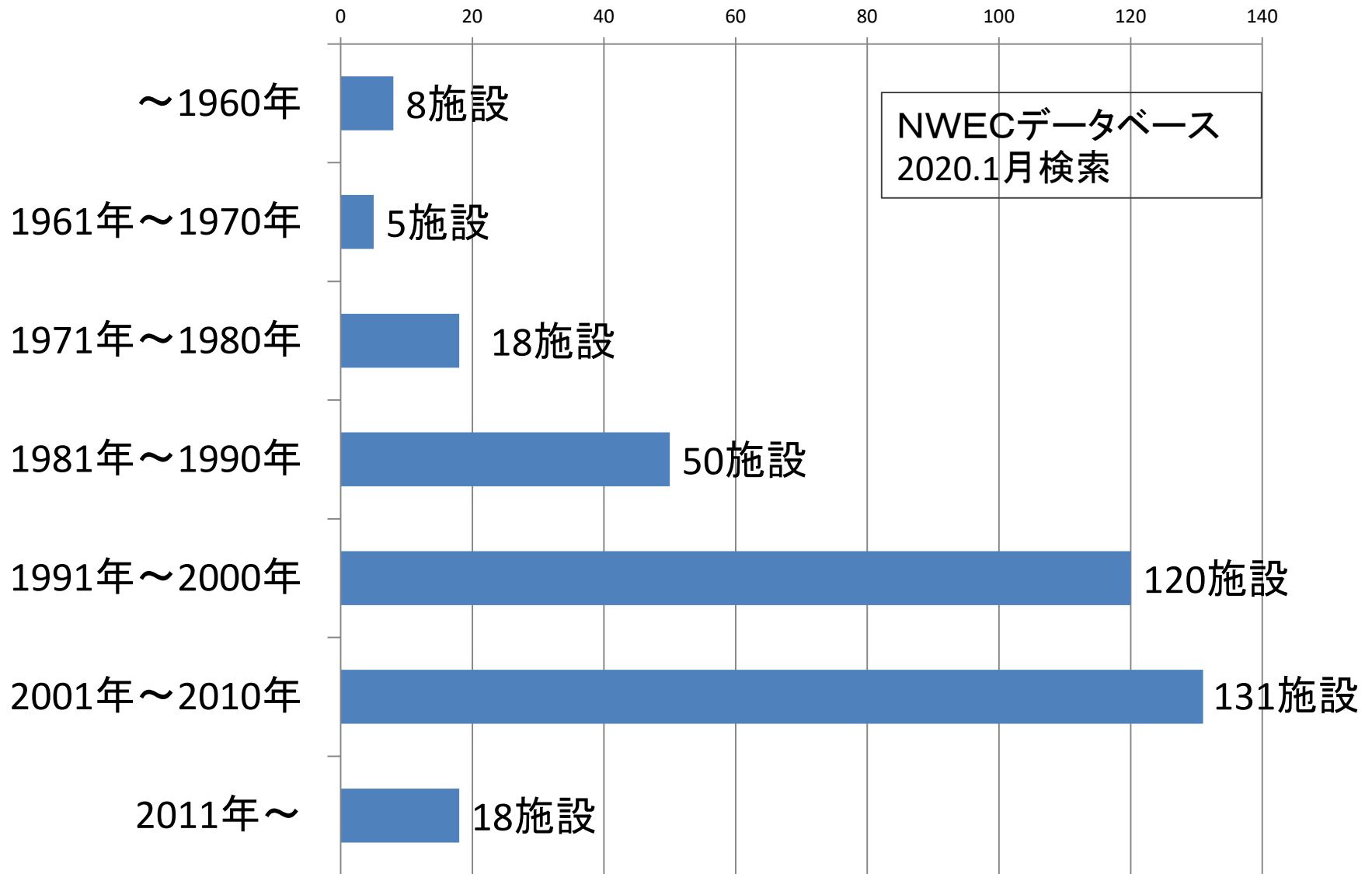
■ 公設民営 ■ 公設公営 ■ 民設民営 ■ その他 ■ 都道府県 ■ 市区町 ■ 政令市 ■ 民間 ■ その他

男女共同参画センターの実施事業



NWECデータベース
2020.1月検索

男女共同参画センターの設立時期



男女共同参画センターの強み・限界

全国に365もの施設があることは、男女共同参画を推進していくうえでの貴重な社会資源

【強み】

- 男女共同参画についての専門性を持つ企画集団
- 施設(場)がある
- 総合機能(学習研修・情報・相談)をもつ
- ネットワークの蓄積がありプラットフォームの役割が可能
- 税金を財源とする

【限界】

- 行政権限はない
- 税金を財源とする

男女共同参画センターの事業とは

- 自治体や国の男女共同参画プランにのった事業
- 地域の課題を男女共同参画の視点で解決する事業
- 既存事業へ男女共同参画視点の導入（災害時の対応、防災、子育て支援、再就職支援等）
- 地域における多様な主体との連携・協働による事業

男女共同参画センターの課題

◆男女共同参画センターの目的、必要性、男女共同参画の意味が市民に伝わっていない？

⇒困難を抱えている人のみ？

⇒「男女共同参画」を全面に出すと興味をもたれない
そもそも「男女共同参画」の意味が理解されていない

⇒センターの廃止、縮小、複合施設化

◆セクシュアル・マイノリティの対応